

浦安の子どもたちとともに

べかぶね

平成31年3月

第316号



浦安市青少年センター 浦安市青少年指導員連絡協議会
〒279-8501 浦安市猫実1-1-1 TEL(351)1111



ふしぎな宇宙シティ

見明川小学校4年

縄手 悠菜

建物がたくさん重ねて描き、立体感が出るように工夫しました。

また、明るい色をたくさん使い、宇宙の雰囲気を出すようにしました。

指導された先生から

大塚 正志

吉田圭之介

創意溢れる面白い形の建物や、鮮やかな色を丁寧に塗ることで、幻想的な夢の世界を表現できました。

銀河に広がる美しい星のように、作者の想いがキラキラ輝く作品です。

平成29年度浦安市青少年健全育成標語コンクール

最優秀賞	家族の手	離さず離れず	つかもうよ	堀江中学校	1年	よしおか 吉岡	あいらり 愛莉
最優秀賞	その言葉	誰かのところ	支えてる	舞浜小学校	6年	たけうち 武内	ねね 寧音



「べかぶね」の名前の由来

べかぶねとは、漁船の中でも一番小さな船で海苔取り舟のことを言う。青少年が社会という荒波をもがきながら必死に生きていく姿が、べかぶねに似ていることから広報紙の名前となりました。

節目の時期を迎えて

浦安市青少年センター運営協議会会長

浦安市立浦安中学校長 小澤 力雄



心よりお祝い申しあげます。

小学生は中学生に、中学生は高校を始めそれぞれの進路先で、四月から活躍することになります。それぞれがそれぞれの決意を秘めているのでしよう。

「小学校を卒業したらこうしよう」「高校に入学したらこうしよう」という思いは、培ってきたものをさらに高め、發揮しようとする思いから生まれるものと、環境が変わり、人間関係が変わり、通学先が変わること、心機一転頑張ろうとするものがあるように思います。
どんな理由であれ、卒業という節目はきっかけを与えるものです。そのきっかけを大切にしてほしいと思います。
では、その次の自分が頑張るきっかけはいつになるのでしょうか。

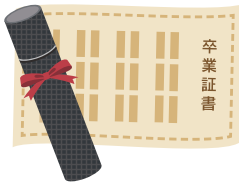
中学・高校は入学したら三年経たなければ卒業式はやってきません。

大学は四年を待たなければなりませんし、社会人になると、自身の卒業式はないかもしれません。

卒業式という節目に思いを新たにすることはとても大切なことだと思えます。

しかし、日常の中でそのきっかけを見出すことができれば、チャンスは無限に広がります。

子どもたちには、自分できっかけを発見する目も養ってほしいと思えます。



青少年健全育成標語コンクール表彰式

会長賞作品（中学校の部）

見明川中学校 3年 石垣大洋

「伝えよう感謝の言葉もごめんねも」

会長賞作品（小学校の部）

舞浜小学校 6年 宇佐美乃亜

「変わるのには周りじゃなくて自分から」

市長特別賞作品

美浜中学校 2年 福富心春

「いじめの芽 あなたの勇気でつみとれる」

12月14日（金）、市内小中学生を対象にした標語コンクールの表彰式が文化会館大会議室で開催され、会長賞など28人に表彰状と盾が贈られました。

この標語コンクールは、浦安市青少年健全育成連絡会の事業で、今年度で21回目となります。

子ども達自身に健全な成長を考え、意識を高めてもらうことを期待しています。

募集は私立校を含む小学校17校の5・6年生と中学校11校の全学年を対象に行い、今年度は7,618点の作品が寄せられました。

表彰では、最優秀賞を各校から1点ずつ

つ選出し、この中から、会長賞を小学校の部と中学校の部から1点ずつ、市長特別賞を会長賞に次ぐものとして1点が選ばれました。

受賞作品は、「ありがとう」「感謝」「家族」「笑顔」といったキーワードが多く使われ、有効かつ単的に表現された素晴らしいものばかりでした。



市長の挨拶の中で、作品には「ありがとう」が多く使われているが、その反対語は何だと思えますか？との話がありました。

その答えはなんと「あたりまえ」だそうです。「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」。「有ること難し」「まれである」「奇跡」という意味になるそうで、今日、誰かと出逢い、話し、笑い、食事をして：こんな当たりまえと思つことが、本当は奇跡の連続なのかもしれません。

意表をつく質問でしたが、感心してとても心に残りました。
受賞作品は本誌の表紙でも発表させていただきます。

受賞された方々、関係者の皆様本当におめでとうございます。

一日補導員キャンペーン 青少年補導員活動体験

平成30年12月1日(土)、一日補導員キャンペーンが市民プラザWave 101中ホールで浦安警察署高橋生活安全課長などの来賓をお迎えし一般参加者、了徳寺大学の学生、青少年補導員ら合計43名の参加で開催されました。

千葉県警察京葉地区少年センター
上席少年補導専門員 三縄真樹氏より、「青少年の非行防止の健全育成について」をテーマに講演が行われました。



講演では、検挙人数のピークが、戦後の昭和25・26年、昭和39年、昭和63年、平成16年の4回あり、現在は右肩下がりになっていること。不良行為少年補導人員の推移、薬物乱用少年の検挙状況、危険ドラッグについては、販売店舗がなくなっている、現在は沈静化していることなどについてデータを用いて詳細に説明がありました。

また、インターネットが平成9年にはわずか9.2%だったのが、29年は77.8%、スマホ54.2%、携帯電話にいたっては94.8%と著しく高い普及率である

とのことでした。特に、青少年の使い方としては、男子はゲーム、女子はコミュニケーションに使うという状況の中で、振り込め詐欺の「受け子」として犯罪に手を染めてしまったり、SNSを使い自分の裸の写真を送ってしまったことから、取り返しのつかないケースとなった事案もあるそうです。

千葉県警では、補導だけでなく立ち直り支援活動にも積極的に取り組んでおり、一緒に料理教室や稲刈りを行うことで、「コミュニケーションを図り、温かい心の触れ合いを通じた活動をしています。三縄講師からの、「青少年の立ち直りは、警察のみでできるものではありません、ボランティアなど皆さんの力が是非必要です」という言葉が力強く印象的でした。講演終了後は、新浦安駅前広場で、5グループに分かれて、啓発品を配布しながら参加者に啓発活動・補導活動を体験してもらい終了となりました。参加者からは、「わずか半日でしたが、講義と体験両方できて補導員について理解できました」との感想がありました。



講演終了後は、新浦安駅前広場で、5グループに分かれて、啓発品を配布しながら参加者に啓発活動・補導活動を体験してもらい終了となりました。参加者からは、「わずか半日でしたが、講義と体験両方できて補導員について理解できました」との感想がありました。



子どもたちへの理解を より深めるための講演会

1月19日(土)、Wave 101中ホールにおいて、講師に千葉敬愛短期大学学長の明石要一氏をお招きし、「今の青少年が見えていますか」——青少年は社会を映す鏡——をテーマに講演会が開催されました。講演では教育における地域社会の大切さを訴えられ、子どもを元気に育てるヒントをくださいました。

先生のお話で印象に残った内容をいくつかご紹介いたします。

◆教育と地域力

日本が生き残るには教育しかありません。団塊の世代では孫を持たない人が25%います。孫や地域の子ども達と交流がないと次世代に考えが及ばず、選挙では社会保障を最重要視します。少子化の影響はこのように見えないところで起きています。地域の力が抜けると教育はしんどくなります。青少年補導員の皆様には是非、地域の大人になってほしいです。

◆「決断力」と「判断力」

両者の違いは何でしょう。例えば、恋愛は「判断力」、結婚は「決断力」です。決断できないと、留学しないなど様々な面で内向き志向になります。学校で「判断力」は教えられても、「決断力」は教

えられません。地域が教えるのです。地域社会は決断の集積だからです。幼児期から地域社会のことを経験させると決断力が養われます。

◆子どもを伸ばす

親、先生、地域のうち、地域の人から誉められると、機会が少ない分最も自尊心が育ちます。大切なのは「生まれてきて良かった」という自尊感情を育てることです。「あなたが一番」は相対評価ですが、全体を評価してください。「話し上手」より「聞き上手」になることです。「失敗は成功のもと」を信条に。そうすると子どもは元気に育ちます。



この他にも、ご紹介したい内容はたくさんあります。講演を聞いて、補導員ができること、そして、立ち位置としての何が見えてきたような気がしました。

講演は、話されるだけでなく、とんちの効いたクイズや、参加者同士で話し合いをさせるなど、終始和やかであったという間に時間が過ぎていきました。

先生は、長嶋茂雄のファンで、長嶋学を創設されています。次回は、そういったお話もぜひ聞きたいと思いました。



自転車には必ず鍵を かけましょう！ 浦安警察署生活安全課

浦安市内は土地が平坦であるため自転車の利用者が多く、自転車の盗難が多発しています。今回は、自転車盗難の発生状況や被害に遭わないためのポイントについてお知らせします。

●浦安市内の犯罪の約4割が自転車の盗難！

平成30年中における浦安市内の犯罪件数（刑法犯認知件数）は約1,500件でした。そのうち、自転車の盗難は約600件であり、これは市内の犯罪の約4割になります。また、この600件という件数は、県内でも高い水準となっています。

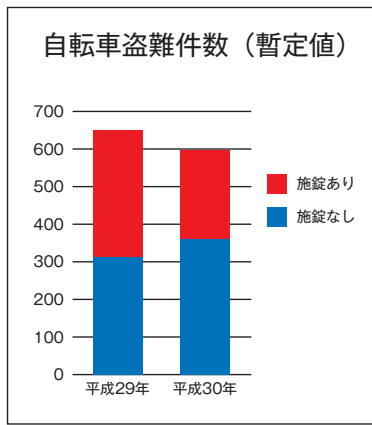
自転車の盗難は軽微な犯罪と思われるがちですが、刑法の窃盗罪に該当し、もし見逃された場合は「悪いことをしている」という意識が低下し、より重大な犯罪に手を染めるきっかけとなる「ゲートウェイ犯罪」と呼ばれています。少年犯罪のうち、最も多いのが窃盗です。少年が将来、重大な罪を犯すことがないように未然に防止することが非常に重要となります。

●被害者の6割は自転車に鍵をかけていない！

約600件の自転車の盗難のうち、鍵をかけずに被害に遭ったのは約6割にも上ります。この無施錠の割合は、一昨年に比べて1割以上多くなっています。

犯人は、鍵のかかっていない自転車を物色して盗んでいます。

特に、浦安駅、新浦安駅、舞浜駅周辺では自転車の盗難が多発しているの
で、注意が必要です。



●自転車盗難防止のポイント

○ポイント1 短時間でも鍵をかける

皆さんは、買い物等で自転車を駐輪する際に「短時間だから鍵をかけるのは面倒くさい」と鍵をかけないで駐輪することはありませんか？

短時間の駐輪でも油断は禁物です！多くの自転車が短時間の駐輪で盗難に遭っています。

○ポイント2 自宅でも鍵をかける

一戸建ての敷地内や集合住宅の駐輪場に駐輪する際に、鍵をかけずに盗難に遭うケースがとて多くなっております。油断は禁物です。

○ポイント3 鍵は前輪と後輪にかける(ツーロック)

駐輪する際には、必ず鍵をかけるのはもちろんのこと。できれば前輪と後輪に1個ずつ、合計2個の鍵をかける「ツーロック」をお願いします。



浦安警察署では、自転車の盗難防止キャンペーンを実施するとともに、検挙活動を強化しています。

皆さんも大切な自転車が盗難被害に遭わないように、「自転車の盗難防止のポイント」を実践してください。

浦安市の犯罪が減少し、より安全で安心して暮らせるようにご協力をお願いします。

千葉県警察年頭視閲

平成31年1月16日(水)に幕張メッセイベントホールで、開催されましたので補導員6名とセンター職員2名で見学してきました。昭和45年から続く伝統行事で、千葉県警察が安全で安心できる県民生活の確保を目標に、今年一年の治安維持に万全を期すことを誓って行われているものです。

警察部隊の整列や行進は、とても厳正な雰囲気のもとで行われ、威風堂々としていました。



行進では、機動隊や警備隊総勢444名、警察犬12頭、パトカーや白バイ、NBCテロ対策車、爆発物処理車などの特殊車両42台が勇ましく行進し、華麗で力強さを感じました。

また、白バイやパトカーの乗車体験写真撮影も行われており大盛況でした。日々の安心と安全は、警察の方々により守られています。

千葉県はオリンピック・パラリンピックの会場にもなりますがきつと無事に開催されることを思います。

今年も、事件や事故がなく一年が無事に過ごせるようにあります。

市民功労賞受賞

11月3日文化の日に文化会館小ホールで、第53回浦安市民功労者表彰式が開催されました。

市の発展や公共の福祉の増進および文化の振興に寄与された方々に対して感謝の意を表すために行われています。

今年度は、10名の方が受賞し、青少年補導員からは、教育文化の分野で、永年にわたる青少年の非行防止と健全育成にご尽力された功労により塩谷祐司さん、山田典子さんが受賞されました。

また、塩谷さんは、受賞者を代表し挨拶をいたしました。受賞されたお二人からは、「今回、賞をいただきまして大変光栄です。また、受賞したことで、多くの方々におめでとつと声をかけられ、大変うれしく思っています。改めて、関係者に感謝申し上げます。これからもこれからも、地域において子ども達を見守っていききたいと決意しています」とのコメントをいただきました。



教育功労賞受賞

11月15日(木)に平成30年度教育功労者表彰式が開催されました。

これは、教育・学術・または文化の振興に尽力された方々に対して感謝の意を表すために行なわれています。今年度は11名、1団体が受賞されました。

青少年補導員からは、鹿目眞理子さん、石神トヨ子さんが永年の青少年への非行防止及び健全育成のご尽力の功労により受賞されました。

受賞者のお二人からは、「表彰されたことで責任を強く感じます。また、補導員のみなさんをはじめ、青少年の健全育成に関わっている方のおかげで受賞できたものと思っており、皆様に御礼を申し上げ、今後とも補導員活動を継続していきたいと考えています。」とのコメントをいただきました。



社会福祉協議会会長賞受賞

2月9日(土)に文化会館小ホールで開催されました。多年にわたり地域における福祉活動に尽力され、地域福祉の発展に功労があった個人や団体を表彰し、より一層の地域福祉の推進のため隔年で開催されているものです。

青少年補導員からは、鹿目眞理子さん、山澤久子さん、折本貴子さん、大滝美佳さん、高木洋子さんが永年の功績により社会福祉協議会会長賞を受賞されました。

受賞者の方々は、「青少年補導員の活動が、地域の社会福祉の向上のために貢献できて大変うれしいことです。これからも手と手をつなぎ社会福祉の担い手として、他の模範となるように頑張っていきます」と決意を新たにしていました。

また、アトラクションとして、手話パフォーマンスやアンサンブルも行われ、和やかな雰囲気でした。表彰された皆様及び関係者の皆様本当におめでとつございます。



こちらべかぶね編集会議

本誌は、青少年補導員連絡協議会と青少年センターの協働で発行され、編集委員は各中学校区ブロックより選出された15名と広報担当理事2名、市の担当者で構成されています。

読んでくださる皆様に補導員の活動や青少年に関する情報をわかりやすく、タイムリーに伝えたいと日々パトロールのかたわら、取材や写真撮影等に励んでいます。昭和57年12月1日に創刊され、当初は毎月発行でしたが、各年度3回発行とするなど形態を変えて現在に至っています。



今年度は、紙面にQRコードを採用、編集委員の大河原一樹さんにアイコンを描いていただくなど内容の充実を図りました。

次回317号の発行は、新しい年号となった7月となります。

これからも、編集委員一同頑張つて誌面の充実を図ってまいりますので、歴史ある当誌ともども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ブロック紹介

入船中・高洲中ブロック

入船中学校ブロックは入船・高洲中学校の2校が一緒に活動しています。通常、月2回入船は木曜日、高洲は火曜日にパトロールを行っています。



特徴は、入船は新浦安駅が近くにあるので通勤、通学などで人が多いエリア。そして、高洲は浦安市内で築年数の比較的浅い、大規模マンションが多いので子どもが多いエリアです。

PTAから選出されている補導員は男性も多く、時間があえば積極的にパトロールなどに参加しています。移動交番の警察官や新浦安駅前交番の警察官も一緒にパトロールに参加してくれるので、とても強く思っています。



堀江中ブロック

堀江中ブロックは、旧江戸川沿いから境川の南側、大三角線を越えて東野段差道路の堀江、富士見、舞浜方向へ向けての広い範囲です。

有名な堀江ドック、堀江フラワー通りも区域内です。月2回火曜日に元気一杯堀江公民館に集合します。



白いジャンパーの上に黄色の反射ベストを着用し、全員が青色棒を持ち、若干打ち合わせをして、堀江方面と舞浜方面の二手に分かれパトロールを開始します。本年度より新しく加わったメンバーと共に楽しくパトロール。構成は、男性11名、女性3名の合計14名です。

すれ違う人達に「こんばんは」と大きな声で挨拶をし、無灯火の自転車には「ライトをお願いします」とやさしい声で声かけをしています。

暮れには、ブロック情報交換会を行い、楽しい一時を過ごしました。

これからも、子ども達への温かい声かけを続け、安心安全な地域づくりを、明るく元気に地道に続けていきます。

明海中ブロック

明海中ブロックは、明海中、明海南小、明海小の先生方、PTA、民間有志の12名で活動しています。今年度から新しいメンバーも加わり第一金曜日の朝は、二

班に別れ、各校门に立ち、声かけをしながら子ども達を迎えます。そのあと地域のパトロールをします。



第三金曜日は、夕方子ども達の下校を見守りながら、公園やスーパーのゲームセンターなどをパトロールします。交番のお巡りさんも、一緒にパトロールに協力してもらっていることもあります。

明海地区は、マンションやホテルも増築され、新しくなった商業地域にも沢山の人が集まり賑やかになってきました。

これからも地域の子ども達が、安心して安全で過ごせるよう笑顔で愛のひと声をかけながら、見守っていききたいと思えます。



見明川中ブロック

見明川中ブロックは、見明川中、見明川小、東海大付属浦安中の先生方、PTAを含む9人で構成されています。

月2回の地区パトロールは、子ども達の帰宅時間や日没に合わせ冬場3時半より夏場は5時と、パトロールの時間を変更して行っています。

閑静な住宅地の多い今川地区と舞浜地区を交互に、弁天ふれあいの森公園や運動公園を中心にパトロールを行っています。



お巡りさんが参加してくださる時もあり、情報交換や、子ども達への気さくな声かけにホッとする場面もあり、貴重な時間となっています。

ベテランの補導員を中心に、PTAのおかあさん、先生とともに和気あいあいとした雰囲気です。これからも地域の安全、安心の為にたくさんのお巡りさん、笑顔と暖かい心で、声かけと見守りを続けていきたいと思えます。



始業式・早朝パトロール

(1月7日 月曜日)

二学期が始まる始業式に合わせ、青少年補導員と青少年センター合同の早朝パトロールを実施しました。補導員の他に浦安署の警察官もいっしょに校門に立ち、子どもたちと挨拶を交わしている学校もありました。

地区パトロール

(10月～1月までのパトロール日誌より)

見明川中ブロック

今川街区公園では児童数名が午後4時30分過ぎても遊んでいたの声をかけし、その後、弁天中央街区公園でも児童、幼児十数名が遊んでいましたが、保護者もいたのを見守りをお願いしました。移動交番の警察官も途中で一緒にパトロールしました。

美浜中ブロック

暗くなる時間に合わせ、夕方4時からパトロールを開始しました。美浜東エステート内の公園では、たくさんの子も遊んでいました。「暗くなってきたから早くおうちに帰ろうね」と声をかけました。

富岡中ブロック

マンション沿いを、斜め横断する生徒さんが多く、横断歩道を渡るように声をかけました。東野と

富岡を結ぶ歩道橋を自転車でも横断する人が多く、下りはスピードが出て危険を感じます。気をつけていただきたいと思います。

浦安中ブロック

浦安小学校の校庭に19時10分頃、男子中学生4人が遊んでいたのでも早く帰るように声をかけました。

浦安公園で19時40分頃、高校生の男女2人がベンチで話をしていたので、早く帰宅するように声をかけました。やなぎ通りで、高校生が自転車に二人乗りをしていたので声をかけました。

明海中ブロック

この時期(11月～)日没が早く、ライトを点けるが、点けないかの時間に無灯火の自転車が多くの走行していたので声をかけると、「あっ」と気づいて素直に点けてくれました。

日の出中ブロック

通学時の朝はとくに冷え込んでおり、ポケットのなかに手を入れて歩く子どもも多く、声をかけるとはっと気づき少し笑いながら、あいさつをしてくれました。終業式の日には荷物も軽く足早に学校へ向う姿が印象的でした。

入船中・高洲中ブロック

入船公園(入船西ブリン公園)はタバコの吸い殻が散乱していました。入船4丁目の塾周辺には通塾生用の駐輪スペースが無く、自

転車があふれていて危険なので、同行していた警察官に塾側に対策を依頼しました。高洲にある塾も駐輪スペースが無く、自転車が無造作におかれ、なかには施設していない自転車が見受けられたので、同行していた警察官が注意喚起してくれました。

堀江中ブロック

19時50分頃富士見第一街区公園で高校生4人に、20時頃しおかせ緑道で中学生男女に声をかけました。大人の自転車無灯火6台に点灯をお願いし、すぐに従ってくれましたが、二人乗りの自転車は分かったとの返事はあったものの、そのまま行ってしまいました。

中央パトロール

○12月17日(月) Cパトロール
警察官にも同行していただき北栄地区の北部小学校および浦安中学校の通学路を中心にパトロールを行いました。時間帯から下校中の多くの生徒たちに出会い、無灯火走行の自転車へ声をかけをし、早めの帰宅を促しながらパトロールを行いました。

○12月20日(木) Aパトロール
浦安高校の数名の生徒が下校していませんでした。それ以外の子ども達はいませんでした。地域の住民に「こんにちは」と挨拶を交わしながら徒歩でパトロールを行いました。

○1月9日(水) Bパトロール

東野交差点付近で女子中学生の自転車の二人乗りと遭遇し「二人乗りは危ないので降りてください」と声をかけたところ素直に対応してくれた。青少年館、東野児童センター等の施設に立ち寄ったところ「いつもありがとうございます。」等の感謝の言葉をいただきました。東小学校、東野小学校の正門でそれぞれ声をかけをしたところ、子ども達からは元気な声が返ってきました。

○1月30日(水) Dパトロール

通勤帰りの人で混み合う浦安駅周辺、ゲームセンターをパトロールをしましたが子ども達の姿はあまり見かけませんでした。

子ども達のためり場となる公園、コンビニ、カラオケ等の場所を確認しながらパトロールを行いました。

パトロールの実施時間

Aパトロール	10時～12時
Bパトロール	14時～16時
Cパトロール	16時30分～18時30分
Dパトロール	19時～21時

補導の状況

(平成30年4月1日～平成31年1月31日)

行為別	人数
喫煙	0
飲酒	0
自転車二人乗り	130
自転車無灯火	93
自転車危険走行	6
迷惑行為	3
帰宅指導	31
合計	263

浦安警察署長より感謝状

1月29日(火)、青少年の健全育成と犯罪抑止活動に貢献した功労が認められ浦安市青少年補導員連絡協議会に対して浦安警察署長より感謝状が贈呈されました。



行事予定

4月8日(月)
始業式・早朝パトロール

雑感

今回で、平成最後の発行となりました。
昭和57年に第1号を刊行したこの「べかぶね」も平成という海を渡り切り、新たな元号へと漕ぎ出します。
時代とともに青少年の有り様は変わるものですが、いつの時代も変わらないのは、「子どもは大人の愛情によって育まれる」ということです。
新しい時代も、そのような視点を持って「愛のひと声」をかけ続けていこうと思います。

(J・O)

